

2018-2019 ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2



BE THE INSPIRATION

インスピレーションになろう

国際ロータリー第2510地区 2018～2019年度 ガバナー 小 山 司

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512
E-mail: rid2510@nifty.com <http://rid2510.org>

2018-2019年度国際ロータリーのテーマ
「インスピレーションになろう」



国際ロータリー第2510地区
2018-2019年度地区目標

——— 持続可能な絶え間なき変革のスタート ———

1. 組織を活性化しよう

- (1) 会員の維持、増加の推進
- (2) 女性会員の増強
- (3) クラブ役員、地区委員への若手登用の推進

2. ロータリーの認識・理解を深めよう

- (1) 会員研修の充実・強化
- (2) クラブ相互間、グループ相互間等のコミュニケーションの活発化
- (3) ガバナー月信の内容充実、電子化の推進

3. 地域社会との関わり合いを深めよう

- (1) 人道的奉仕活動の推進、ロータリー財団補助金の活用
- (2) 青少年活動の支援・強化、地域社会との連携
- (3) 広聴活動の推進

CONTENTS

●ガバナーメッセージ	1	●新会員のご紹介/米山奨学生のご紹介/	
●2019-20年度テーマ:ロータリーは世界をつなぐ	2	ガバナー事務所・所長就任のお知らせ	9
●第3回ガバナー補佐会議報告	3	●ハイライトよねやま	10
●北海道胆振東部地震の被災地訪問と災害支援(中間報告)	4	●災害対策用口座閉鎖のご連絡/ロータリーコーディネーターNEWS	11
●ロータリー活動広報看板リニューアル	6	●不思議な箱	12
●ガバナー公式訪問報告	7	●地区カレンダー(2月・3月)	13
●米山記念奨学会寄付・ロータリー財団寄付	8	●出席率・会員数	14



今後のロータリーに期待すること その3 —ロータリー会員の年齢構成と世代間交流—

国際ロータリー第2510地区

2018—2019年度ガバナー **小山 司**
(札幌RC)

先々月号から、今後のロータリー活動の活性化について私見を紹介させていただいています。公式訪問時の会長・幹事会、クラブ協議会で学んだ、クラブ運営の現状と課題に基づいた所見です。今月号をもって終了しますが、3号合わせて各クラブの今後の検討課題としてご参考いただければ幸いです。

ロータリーの活性化は全クラブに共通する切実な課題です。しかし、地域背景や創立年数、会員数がクラブごとで異なり、抱えている課題も様々であり、各クラブがそれぞれの実情にあった工夫を加えながら「ロータリーの心」の実践を続けるしかありません。各課題の解決には妙案はありません。しかし正しい問いかけで視野が広がります。しかもこうした問いかけそのものが会員相互の関係性を深め、インスピレーションを鼓舞し、結果として課題の改善、ひいてはロータリーの活性化につながると確信します。

今月号では、ロータリーの実践面に焦点を当てて、ロータリーの活性化と持続可能性につながる会員の年齢構成と世代間交流の重要性について述べることにします。来年、2020年には日本のロータリー創立100周年を迎えることになります。その間に起こった経済、産業構造、社会構造の変化は著しいものがあり、ロータリー活動にも大きな影響を及ぼし、ロータリアンの世代間の認識や価値観に大きなギャップが生じていることが指摘されています。

現在の私たちは、否応もなく、巨大な市場経済の中に組み込まれています。経済効率化の名の下で、大きなシステムの小さな部品を演じさせられているかのようです。地方経済に対する影響は甚大で、街の商店街の様相は一変しました。医療も教育も市場経済に呑み込まれそうになります。ロータリー会員数の減少や高齢化の問題は、この経

済の動向と無関係ではありません。新自由主義だと言いながらも、私たちは日々不自由になっているのではないのでしょうか。

クラブ公式訪問を振り返り、最も印象深かった点を紹介しますと、30から50名規模のクラブで30から40代、40から50代、60から70代と、クラブの年齢構成がほぼ均等なクラブが3つほどありました。意欲的で有能な若い世代が委員長を務め、シニア会員が副委員長としてサポートするなどの教育的配慮が意図されるなど、クラブ全体の雰囲気も大変活気に満ちていました。

クラブのバランスのとれた年齢構成が実現することにより、クラブ内の世代間交流が可能となります。江戸時代、大阪の船場商人は、『若者は年寄りと友達になり、年寄りは若者と友達になる』という言葉を大事にしたと聞いています。若者は『夢』を語り、年寄りは『経験』を語ることによって、世代間の知恵の交換とその集団の価値の伝承を意図したということでしょうか。

ロータリーの持続可能性を追求するためにも会員の世代間交流は極めて重要です。交流を促進する目的で、従来からファイヤーサイド・ミーティングが推奨されていることは周知の通りですが、基本はロータリーの実践、すなわち委員会活動を通じた世代間交流です。そのためにも、『委員会こそがクラブ運営の基本である』という事実を思い起こし、委員会の定期的開催や『委員会報告カード』の利用などの価値をポジティブに見直す必要があります。委員会の在り方に関して、各クラブで新たな議論が展開されることを期待します。



2019-20年度テーマ：ロータリーは世界をつなぐ

マーク・ダニエル・マローニー国際ロータリー会長エレクトは、より力強いロータリーを築くためのビジョンを発表し、地域社会とのつながりを広げるために、革新的な会員モデルを導入していくことをクラブのリーダーに呼びかけました。

ジケーター・ロータリークラブ(米国アラバマ州)会員のマローニー会長エレクトは1月14日(月)、米国カリフォルニア州サンディエゴで開催中のガバナーエレクトへの研修行事である国際協議会で、2019-20年度の会長テーマ、「ロータリーは世界をつなぐ」を発表しました。

「最初の強調事項はロータリーを成長させることです。私たちの奉仕活動やプロジェクトのインパクトを成長させること、また、最も重要なのは、これからより多くのことを達成するために、会員を増やすことです」とマローニー会長エレクトは述べました。ロータリーでの経験の中核にあるのは「つながり」であるとマローニー会長エレクトは信じています。「ロータリーで私たちは、お互いの違いを超え、深く、意義あるかたちでお互いにつながることができます」とマローニー会長エレクト。「ロータリーは、ロータリーがなければ出会うことがなかった人びと、職業上の機会、私たちの支援を必要とする人たちとのつながりをもたらしてくれます」さらに、多様な会員から成る会員増強委員会を設立することで、現在クラブに反映されていない地域社会の人たちを特定するようすべてのロータリークラブとローターアクトクラブに促しました。

また、「ユニークなネットワークを駆使するロータリーを通じて私たちは、人類の素晴らしい多様性とつながり、共通の目的において未永く続く深い絆を創り出します。世界がこれまで以上に分断する今日、私たち全員をつなぐのはロータリーです」と続けました。会長エレクトはさらに、忙しい職業人や家族の都合で忙しい会員にもリー

ダーの役割を果たしてもらえよう、さまざまな例会の内容や奉仕プロジェクトの機会を提供するよう促しました。

「ロータリーでの活動と家族との時間が競合せず、互いに補完し合うような文化をつくっていく必要があります」と会長エレクト。「これには、現在の文化を変えるための現実的なステップを取ること、つまり、期待値を現実的に受け止め、スケジュール作りを熟考し、すべてのレベルのロータリー行事に子どもを受け入れることを意味します」

国連との関係

2019-20年度、ロータリーは世界中で会長主催会議を主催します。この焦点は、国連との関係と、多くのロータリー奉仕プロジェクトが支援する国連の持続可能な開発目標です。詳しい情報は、7月に発表されます。

2020年、国連はその創設と平和の推進という使命に基づいた活動の75周年を迎えます。ロータリーは、国連憲章につながった1945年のサンフランシスコ会議で相談役を務めるために米国が招へいした42の組織の一つでした。それから何十年もの間、ロータリーは世界中の人道的課題に取り組むため、国連と共に活動してきました。国連は今日、ロータリーに対し、非政府組織の相談役に対して与える中で最高の立場を認めています。

マローニー会長エレクトは次のように述べました。「ロータリーは、より健康で、平和で、持続可能な世界に対する国連の継続したコミットメントを共有しています。また、ロータリーはほかの組織にはかなわないものを提供します。それはつまり、奉仕と平和という精神の下に世界中の人びとがつながることができ、目標に向かって意義ある行動を起こすことのできるロータリーのインフラです」

(ロータリーホームページより)



2018-2019年度 第3回ガバナー補佐会議報告

国際ロータリー第2510地区

地区幹事 **福山 眞司**
(札幌RC)

2019年1月19日、札幌グランドホテルにて、小山ガバナー、福井ガバナーノミニ、安孫子パストガバナー、羽部パストガバナー、嵯峨パストガバナー、各グループ地区ガバナー補佐、地区幹事の出席のもと「第3回ガバナー補佐会議」が開催されました。

各地区ガバナー補佐より今年度上半期活動報告と下半期活動計画の報告の後、久保田地区代表幹事より胆振東部地震義捐金受入状況について、また高山地区災害対策委員長より同地震の災害支援状況について説明がありました。

小山ガバナーからは

①会員数について：各クラブが意義のある活動を行う上ではマンパワーの面からも、使うことのできる資金の上からも各クラブには少なくとも25名の会員数が必要であると考えられるが、現在25名以下の会員数で運営されているクラブが23クラブ存在する。これらのクラブ会員数を増加させる方策について各グループで考えて欲しい。

②My Rotaryへの登録について：My Rotaryへの登録の推進を始めてから3年半ほどになるが、いまだに各ク

ラブの平均登録率は30%程度にとどまっている。ただクラブの中には登録率が90%を超えているクラブが数クラブ存在する。今後一括登録などの方法を含めて登録率の向上に向けて各グループで知恵をしぼって欲しい。

③下半期の活動について：ロータリー活動は1年毎にスタッフが入れ替わり、活動が途切れてしまうきらいがあるが、組織として持続的な成長を達成するには年度から年度への持続性を維持することが大切になってくる。今年度も後半に入っているが、これからは各自がこれまでに達成して来たことや活動理念を次年度へバトンタッチしていくことを意識して活動を行って欲しい。

と言う3点の指示がありました。

プログラム終了後、午後5時より懇親会が開かれ、新年の挨拶を交わしながらリラックスしたひとときを過ごしました。





北海道胆振東部地震の被災地訪問と 災害支援(中間報告)

国際ロータリー第2510地区
地区社会奉仕委員長
災害対策委員長

高山 和宏 (札幌東RC)

平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震により、尊い多くの命が失われるとともに、多くの方が負傷され、大規模な土砂災害や家屋の倒壊、産業被害の拡大など、被災地の多くは今なおその爪痕が残ったままの状態です。

地区には地震発生以降、地区内クラブをはじめ、国内外のロータリアンから多くの義捐金が寄せられました。地区内でその有効的な活用方法を検討し、実行に移す窓口として、災害対策委員会が設置され、地区社会奉仕委員長の私が委員長、地区職業奉仕委員会玉井委員長と地区クラブ奉仕委員会岡崎委員長を副委員長として、地区社会奉仕委員会委員が兼務する形で委員会はスタートしました。

具体的な支援内容を検討するため、10月にガバナー補佐と災害対策委員会を開催し、震源地に近く被害の最も大きかった胆振東部3町を対象に支援策を検討することとしました。11月6日には戎谷委員のご尽力により、3町長と面談する機会を得て、各町の現状や課題、これからの復興に向けた町の方針等を把握することができました。

そのなかで、すでに支援物資等は充足しており、「モノ」の支援よりも、観光イベントの支援のような「コト」の支援、それもできることならば、復興に向けた息の長い支援をお願いしたいという旨の話が各町長からありました。

その後、11月に開催したガバナー補佐会議では、既存の団体に寄附する等ロータリークラブに入らなくてもできる支援ではなく、被災地の意向に沿った内容で、使い道が具体的にわかる支援をすることを基本方針としました。また、胆振東部3町の隣接エリアである第12グループの清水ガバナー補佐より、被災地では国や道の補助金のうち、教育や福祉の分野で予算がつきづらいので、使い道をその分野に特定し寄附をしてはどうかという提案がなされ、各町に状況を確認した後に、以下のとおり実施することとなりました。

【厚真町】

- ①仮設住宅の入居者の心のケアのために、生活相談支援員を2名採用したが、各仮設住宅がはなれていないため、移動手段がなく困っている。移動用の自動車が必要との要請を受け、軽自動車を2台寄附することとした。
- ②町内の小中学校で破損した備品と、震災により心の傷を受けた子供たちの心の復興のために実施している「週末子ども広場」事業に必要な備品の購入費用を寄附することとした。

【安平町】

- ①地震で被災して校舎が使用できなくなった早来中学校の仮設校舎整備費用の一部を寄附することとした。(国の補助金では全額賄えないため)

【むかわ町】

- ①鶴川高校の学生寮が被災し、使用できない状況が続いたが、寮の仮設は前例がなく、国の補助がなかなか決定されなかった。最終的には国の補助が決定したものの、全額補助が見込めないため、その建設費用の一部を寄附することとした。

厚真町に寄附する軽自動車2台(3か所にロータリーマーク入り)の納車時期にあわせて、昨年12月25日に小山ガバナー、清水ガバナー補佐、第12グループ4クラブの会長・幹事の皆様、広報・ICT委員会武蔵委員長、災害対策委員会メンバーが参加して、3町を順次訪問し、目録贈呈式を行いました。

贈呈式では各町長から、ロータリークラブの支援活動に対し、御礼の言葉に加え、今後の復興に向けより一層尽力したいとの力強いお話も聞かせていただき、その言葉に支援に訪れた我々が逆に勇気や元気をもらい、帰途につきました。

今後の災害支援については、できる限り継続して行っていきたいと考えておりますので、会員皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。



ロータリー活動広報看板リニューアル

森ロータリークラブ

会長 **名倉 豊**

20数年前に設置し劣化が著しい状態のロータリー広報看板の現地調査をしたところ、土台と支柱部分が今後も継続使用が可能なことからリニューアルすることとしました。看板設置に先立ち熊笹や樹木が生い茂っていたのでクラブメンバー総出で草刈り、木々の伐採、ショベルローダーで周囲の整地作業、加えて散乱していた空き缶などの収集を行ない、見通しが良くなるよう作業をしました。

設置している場所は国道と道道のT字路にあり、三角柱文面は国際奉仕事業「R Iのポリオ撲滅活動」、

「交通安全標語」、クラブの奉仕活動周知と広報を兼ね「森ロータリークラブ」としました。

ロータリーの国際的人道支援活動、交通事故防止のための交通安全啓発、クラブ名表記による会員拡大、周知と、3面一体でロータリー認知度向上に寄与すると考えます。

地区財団補助金の支援を戴いたことに感謝し、併せてクラブ例会でロータリー財団に関する卓話を行い我がクラブのレベルアップも図ることができたと考えております。



ガバナー公式訪問報告

紙面の都合ならびに原稿の到着日により掲載が前後する場合がございますので、ご了承ください。

森ロータリークラブ

8/6日

8月6日、小山ガバナーと赤塚ガバナー補佐を森町へお迎えしてガバナー公式訪問が行われました。4時からの会長・幹事懇談会では当クラブの現状、今後の展開などを説明し、様々な助言を頂きました。森ロータリークラブは平均年齢が50代前半と若い会員が多いクラブではありますが、近年では会員数も減少傾向にあり会員拡大が急務であると説明したところ、まずは現会員がロータリー精神を再確認し資質を向上することでそれぞれが拡大への広告塔となるなどの貴重な助言を頂き、新たな認識で取組まなければならないと感じました。

クラブ協議会では各委員長より今年度の活動計画を発表し、ガバナーからの講評や感想を頂く中で、森町内の他奉仕団体との合同例会を開催し、お互いに研鑽と情報交換を行っているとの説明に関心をもたれ、素晴らしい事業ですとの言葉を頂きました。

公式訪問例会では本年度の地区運営方針の卓話を頂き、組織活性化や地域社会との関わりを持つことの重要性を説明され、参加した全員に小山ガバナーのお人柄とロータリーに対する熱い思いが伝わる例会となりました。ご多忙の中、森町までお越し頂き誠にありがとうございました。



浦河ロータリークラブ

8/22日

8月22日(水)、大幅な役員交代で会長はじめ若い役員が立ち並ぶなか、心配と緊張の中で、小山ガバナーをお迎えしました。唯一、心強かったのは、小関ガバナー補佐が当クラブ選出であり、顔をみたととき、これは頑張らなければいけないなど覚悟を決めました。

今回、特に印象的だったのが、クラブ協議会でした。女性の若い委員長を含め半分以上がガバナーとの懇談が初めてのため、うまく説明できるか、そればかり考えていました。ところが、小山ガバナーの方から、懇切丁寧に職業奉仕には「職業卓話も重要、他業種の見学もいいですよ」。初の女性青少年奉仕委員長は、「古いロータリーは町の有力者のイメージ。若者30代、クラブのすそ野を広げるために青少年委員会があります。頑張ってください。」と言われ、目を潤めていました。親睦委員長も女性ですが、「ロータリーの根本は、親睦を深めロータリーを楽しみましょう。ロータリーを知りましょう。」とお話を受け、他の委員長も多くのご教示を受けましたが、最初は、例年よりなんでこんなに早く来るのか困ったものだと思っていたメンバーも心強い方が来た、早く来て下さって本当に良かったと心から歓迎の拍手となりました。

例会の最後に「ロータリアンは、地域のリーダー。町を元気にする人。ロータリーは、知れば知るほどおもしろくなる。」その言葉に、皆感動しうなづき、今後の活動の励みと糧となりました。ご訪問心からありがとうございました。



砂川ロータリークラブ

10/10日

10月10日(水)小山ガバナー、石黒ガバナー補佐をお迎えして公式訪問が行われました。午前10時からの会長・幹事懇談会では会長より役員紹介、砂川クラブの特徴、主なる事業の取り組みなどを示しました。また小山ガバナーからは事業、クラブの出席率などに関しご意見を頂きました。

11時からのクラブ協議会では理事・役員・委員長の出席のもと、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕等各委員会から活動計画が発表され、ガバナーから適切なアドバイスを頂き委員長もとても参考になったと思います。12時30分からの例会ではスタンディングオベーションの中、ガバナーが入場され、食事をメンバーと一緒に頂き、その後ガバナーの卓話が行われ非常に分かりやすい内容となり真剣に皆が聞き入っていたのが印象的でした。また当日ガバナーに持参して頂きました金色に輝くゴングを緊張の面持ちで叩いていた信太会長はじめメンバーにとっては大変有意義な例会となりました。



札幌ロータリークラブ

12/5日

12月5日(水)、当初の予定より半月遅れで小山ガバナー、中村和雄ガバナー補佐をお迎えし当地区最後のガバナー公式訪問が開催されました。

午前10時から古野会長、渡辺一郎会長エレクト、三好幹事を交え会長・幹事懇談会が行われ、11時からは理事、役員、委員長が加わりクラブ・アッセンブリーが開催されました。クラブ・アッセンブリーでは、クラブ管理運営、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年担当の各理事から今年度事業計画や報告等の発表があり小山ガバナーから講評を戴きました。小山ガバナーからは当クラブ出身ということもあり、他クラブの公式訪問を踏まえ、札幌クラブとしての今後の活動についてアドバイスを戴きました。

12時30分に例会が開催され冒頭、小山ガバナーから地区大会の運営に関するお礼の言葉を戴き、ガバナー輩出クラブとしての責任を果たすことができたと改めて実感が湧いてまいりました。卓話では、ポール・ハリスが育ったマサチューセッツと北海道開拓の歴史を交え、札幌ロータリークラブの初代会長、佐藤昌介男爵へと話は及び、ロータリークラブの発展過程を新たな視点で見つめ直す機会を得ました。



米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

羽幌RC	福井 俊一	会員	1回	12月 3日	小樽南RC	村越 仁	会員	1回	12月21日
留萌RC	大嶋 孝広	会員	1回	12月 7日	小樽南RC	岩舩 早苗	会員	4回	12月21日
滝川RC	神部 洋史	会員	16回	12月26日	余市RC	高橋 弘	会員	1回	12月25日
滝川RC	鈴木 英光	会員	2回	12月26日	余市RC	杉本 彰	会員	1回	12月25日
滝川RC	山口 清悦	会員	2回	12月26日	余市RC	藤田 功	会員	1回	12月25日
滝川RC	三品 優次	会員	3回	12月26日	余市RC	本間 克朗	会員	1回	12月25日
滝川RC	石黒 安雅	会員	4回	12月26日	千歳RC	福田 武男	会員	17回	12月27日
滝川RC	鈴木 忠男	会員	6回	12月26日	千歳RC	今野 良紀	会員	2回	12月27日
滝川RC	細田 光人	会員	6回	12月26日	室蘭東RC	村木 一夫	会員	5回	12月25日
栗沢RC	五十嵐敏樹	会員	1回	12月21日	七飯RC	上野 一義	会員	24回	12月12日
栗沢RC	中村 良臣	会員	1回	12月21日	函館五稜郭RC	狷々谷勝文	会員	1回	12月19日
栗沢RC	氏家 則之	会員	2回	12月21日	函館五稜郭RC	川畑 武裕	会員	4回	12月19日
栗沢RC	林 義明	会員	4回	12月21日	函館五稜郭RC	中川 正光	会員	4回	12月19日
栗沢RC	金山 英昭	会員	4回	12月21日	函館五稜郭RC	福岡 一成	会員	4回	12月19日
栗沢RC	井形 昇	会員	8回	12月21日	苫小牧北RC	豊田 健一	会員	1回	12月18日
札幌RC	古野 重幸	会員	2回	12月26日	苫小牧北RC	山本 雅昭	会員	2回	12月18日
札幌西北RC	小川 眞司	会員	6回	12月14日	苫小牧北RC	伊藤 竹雄	会員	6回	12月18日
札幌西北RC	遠島 芳然	会員	1回	12月14日	苫小牧北RC	高木 一男	会員	8回	12月18日
札幌手稲RC	福井 敬悟	会員	11回	12月27日					
札幌東RC	関根 光晶	会員	1回	12月27日	米山功労クラブ				
札幌東RC	佐藤富士男	会員	1回	12月27日	滝川RC	34回	12月26日		
札幌東RC	木村 輝美	会員	1回	12月27日	札幌東RC	58回	12月27日		
札幌東RC	菅野 龍雄	会員	1回	12月27日	札幌幌南RC	23回	12月27日		
札幌東RC	笠原 昇一	会員	5回	12月27日	小樽南RC	16回	12月21日		
札幌東RC	志々見陽一	会員	5回	12月27日	千歳RC	8回	12月27日		
札幌幌南RC	網干 要	会員	4回	12月27日	函館五稜郭RC	28回	12月19日		
小樽南RC	山村 弘一	会員	1回	12月21日					

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

羽幌RC	有澤 護	会員	1回	12月 5日
羽幌RC	貫藤 吉信	会員	2回	12月 5日
留萌RC	渡辺 英次	会員	6回	12月 7日
滝川RC	鈴木 英光	会員	2回	12月26日
滝川RC	和作 康市	会員	2回	12月26日
滝川RC	石黒 安雅	会員	3回	12月26日
岩見沢RC	白杵 努	会員	1回	12月13日
岩見沢RC	渡辺 劼	会員	3回	12月13日
岩見沢RC	公山 公彦	会員	3回	12月13日
岩見沢RC	小林 義之	会員	4回	12月13日
岩見沢RC	中塚 力	会員	4回	12月13日
岩見沢RC	竹内 守	会員	6回	12月13日
札幌RC	中田 輝夫	会員	2回	12月26日
札幌RC	山中 義夫	会員	3回	12月26日
札幌RC	久保田俊昭	会員	7回	12月26日
札幌東RC	川幡 宏一	会員	2回	12月27日
札幌東RC	関根 光晶	会員	2回	12月27日
札幌真駒内RC	金坂 和正	会員	1回	12月27日
札幌真駒内RC	齋藤 康嗣	会員	8回	12月27日
千歳RC	平間 和弘	会員	2回	12月27日
千歳RC	福田 裕子	会員	4回	12月27日
静内RC	在田 恒昌	会員	1回	12月26日
函館セントラルRC	南 茂樹	会員	6回	12月19日
函館五稜郭RC	林 真彦	会員	1回	12月19日
函館五稜郭RC	渡部 一博	会員	1回	12月19日
白老RC	服巻 滋之	会員	1回	12月21日

ポール・ハリス・フェロー

羽幌RC	芳賀 光雄	会員		12月 5日
滝川RC	藤井 照也	会員		12月26日
岩見沢RC	江本 勝典	会員		12月13日
岩見沢RC	上野 英一	会員		12月13日
栗沢RC	中村 良臣	会員		12月21日
札幌東RC	犬嶋 清幸	会員		12月27日
札幌東RC	岩崎 修一	会員		12月27日
札幌東RC	村山 忠司	会員		12月27日
札幌東RC	瀬尾 昌資	会員		12月27日
千歳RC	齊藤 博徳	会員		12月27日
千歳RC	玉山 敬史	会員		12月27日
函館亀田RC	堀 たけ子	会員		12月11日
函館亀田RC	岩川 信子	会員		12月11日
函館亀田RC	婦山 元	会員		12月11日
函館亀田RC	大角 敏朗	会員		12月11日
函館セントラルRC	林 信平	会員		12月19日
白老RC	浅利 健自	会員		12月21日
白老RC	小澤 康一	会員		12月21日

ベネファクター

岩見沢RC	鎌田 誠	会員		12月13日
岩見沢RC	小林 義之	会員		12月13日
岩見沢RC	三嶋 顕	会員		12月13日
岩見沢RC	竹内 守	会員		12月13日

新会員のご紹介

(敬称略)



札幌北RC
河野 峰
1月7日入会
歯科医



長万部RC
近藤 英代
1月10日入会
行政



滝川RC
加藤 勇三
1月10日入会
ホテル業

米山奨学生の紹介 YONEYAMA SCHOLARSHIP



日本に留学する理由

ファム・テュ・フォン
(ベトナム)

北海道文教大学・恵庭RC

私は2015年1月に日本に来て、北海道の旭川で日本語を勉強しました。今は北海道文教大学外国語学部国際言語学科3年生に在籍しております。性格は活発で、いつも前向きです。

私の趣味はよさこいを踊ることです。2013年、ベトナムでのよさこいチームに参加しました。よさこい踊りは楽しくて、言語がわからなくても、笑顔で人と人が繋がると感じます。2014年に日本とベトナム交流祭りで演舞して、受賞しました。そして、2014年8月末、初めて東京に行って、受賞したパフォーマンスを演舞しました。このチャンスのおかげで、子供の頃から憧れている日本に来られたり、日本の文化を少し体験できたりしたので、日本に留

学しようと決めました。日本に来て、よさこいを踊っています。また、大学1年生の時、大学のよさこいチームに参加して、よさこいソーランで演舞することができました。セミファイナルまで行けたのが驚くことでした。

私は2018年4月から、米山奨学生として恵庭ロータリークラブにお世話になっております。このおかげで、勉強時間を増やし、クラブの活動にどんどん参加することができて、日本の文化をもっと理解できるようになりました。将来、大好きな北海道をベトナムの人達に紹介したいと思うので、日本とベトナムの「かけはし」になるように頑張りたいと思います。



ガバナー事務所・所長就任のお知らせ

このたび札幌ロータリークラブの久保田俊昭会員が国際ロータリー第2510地区ガバナー事務所・所長に就任致しました。

久保田会員は今年度(小山ガバナー年度)の地区代表幹事を務めておりますが次年度以降も事務局員と共にガバナー事務所を守ります。

久保田会員の御活躍を祈念申し上げるとともに、会員の皆様のガバナー事務所へのご協力を宜しくお願い申し上げます。

(国際ロータリー第2510地区幹事 福山真司)



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

2019.1.15

Vol. 226

海外応募者対象奨学金申し込み状況

2019学年度の海外応募者対象奨学金には昨年12月15日の締切までに、世界27の国・地域から135件の申し込みがありました。このうち、必須書類未提出や、勉学のため来日歴があることなどによる無資格が51件あり、最終的な有効申込数は84件（複数校を併願している者の重複を含む）となりました。

有資格者の国・地域別ではベトナム、インドネシアが多く、ロータリー地区別では34地区中23地区で申し込みがあり、最も多い第2750地区が20件、次いで第2760地区が19件となっています。

当会事務局で応募書類をチェック後、1月中旬に各地区へ応募書類を郵送し、地区選考委員会による選考を経て合格者が決定します。

海外応募者対象奨学金は2019学年度から正規の奨学金プログラムとなります。海外在住の日本留学希望者が個人で直接応募できるため、国籍や人材の多様化を進めることが期待されています。

2019-20年度地区米山記念奨学委員長セミナー開催報告

12月11日、次年度地区米山記念奨学委員長を対象とする第1回セミナーを開催し、齋藤直美理事長、水野 功常務理事、全34地区の次期米山奨学委員長（代理含む）にご参加いただきました。

午前は、当会評議員であり第2700地区米山奨学委員長の吉田知弘氏から、「委員長を経験して気付いた米山事業の魅力と可能性」、また、第2530地区ガバナーノミニーであり地区米山奨学委員長の石黒秀司氏より「R I 第2530地区の事例」について、熱く語っていただきました。午後は事務局から各種資料説明、続いて4グループに分かれて理解促進や奨学生選考と育成、



学友会などについて活発な意見交換をしていただきました。

次期地区米山委員長セミナーは年2回開催しており、次回は6月20日に予定しています。

寄付金速報 — 今年もよろしく申し上げます —

12月までの寄付金は前年同期と比べて1.5%減（普通寄付金:0.5%増、特別寄付金:2.3%減）、約1,400万円の減少となりました。前月に比べ、前年同期との差額がさらに増加したように思われますが、直近10年間の中でも三番目に多い金額です。ご寄付をいただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

「2018年度下期普通寄付金のお願い」を当会から

直接、またはガバナー事務所を經由して全クラブにご案内いたしました。普通寄付金は当会事業の重要な安定財源であり、国内全クラブから普通寄付の確約をもらうことを条件に、財団法人設立の許可を得た経緯があります。当事業は全地区が参加する「多地区合同活動」であることをご理解いただき、今年も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

災害対策用口座閉鎖のご連絡

昨年9月6日に発生しました胆振東部地震災害につきましては国内・国外を問わず多くの皆様から多額な義捐金を頂戴いたしました。2018年12月31日現在で37,198,273円に上るご寄付をいただいております。心から感謝申し上げます。この度皆様からの義捐金のお受け取りに使用しておりました銀行口座を2019年3月末日を持ちまして閉鎖することにいたしました。3月末日以降のお振込みを予定しておられる方がおられましたらガバナー事務所までお問い合わせくださいますようお願いいたします。

Rotary
Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター 2019年2月号
NEWS

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

■「RLIと公共イメージについて」

ロータリーリーダーシップ研究会は1992年に米国で始まり、2008年に日本に導入された。このディスカッション型の研修に初めて触れたのは2015年1月にガバナーエレクトとして参加したサンディエゴの国際協議会であった。それまで同期のガバナーエレクトとロータリーについて話し合う機会があったが、この時初めて本格的な意見交換ができたように思う。同期の皆さんの人となり、知見を知る機会ともなった。「縦型リーダーシップから横型リーダーシップ」へ社会も大きく変遷している時代にあって、RLI方式の研修会の有効性が増大していると思われる。RI、地区、クラブという縦型リーダーシップに久しく慣れ親しんだロータリーにあって新しい動きと言うことができる。横型リーダーシップにおいて重要なのは「ダイアログ(対話)」である。元々、共同体的組織として出発したロータリーにおいて対話は重要である。何故なら共同体的組織にとって構成員の満足度が最も重要な要素であるからである。ロータリーにおいて親睦が強調されるのはこのためである。「公共イメージと認知度の向上」というとSNSによる対外的発信に目が行きがちであるが、ロータリアン一人ひとりの満足度の向上と口コミによる広がり程、低コストで効果が大きいものは無いと思う。

第2ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 柳生 好春(野々市RC)

■「職業奉仕の手引き:実践しよう」

1月は職業奉仕月間でしたが、皆様のクラブではどのように取り組みましたでしょうか。国際ロータリーの冊子に「職業奉仕の手引き:実践しよう」(商品番号:255)[電子版のみ](2017年10月版)がありますので紹介をします。

内容は「ロータリーの目的」の第2項「職業奉仕」の実践を総合的に紹介した冊子です。「職業奉仕」とは具体的にどのように実践できるのか、哲学的な概念からその成り立ち、実践例、関連リソースの案内まで網羅した12ページの手引きです。

内容の一部を紹介しますが、「職業奉仕」という概念については「ロータリーの目的」の第2項を土台としており、この項で、ロータリアンは次のことを奨励し、育むことが求められていますと記述されています。

- 職業上の高い倫理基準
 - 役立つ仕事はすべて価値あるものという認識
 - 社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする
- 職業奉仕の実践については、以下の方法をご紹介します。
- 例会で、各会員が自分の職業について話し、互いの職業について学び合う
 - 地域社会での奉仕プロジェクトで職業スキルを生かす
 - 高潔さを重んじて仕事に取り組み、言動を通じて模範を示すことで倫理的な行動を周囲に促す
 - 若者のキャリア目標を支援する
 - 専門能力の開発を奨励し、指導する

紙面の都合上すべてを紹介できませんが是非一読してみたいかでしょうか。

ロータリーにとって職業奉仕は最も重要なことのひとつです。職業奉仕はロータリーの核心であり、個々のロータリアンとして職業を営む上でも、クラブとしても世界中の地域社会で奉仕を行う上でも土台となるものです。

第1ゾーン ロータリーコーディネーター 酒井 正人(函館五稜郭RC)



不思議な箱

第2510地区職業奉仕委員長

玉井 清治

(函館亀田RC)

私の所属するクラブでは「ニコニコBOX」と呼んでおりますが、各クラブ呼び名はさまざまです。正式名称は無いようですが、「ニコニコ箱」がロータリーの共通語のようです。

しかし、なぜ、例会場で会員が自由意思で善意の寄付金を入れる箱のことを「ニコニコ箱」と呼ぶのでしょうか？不思議です。調べてみました。

この「ニコニコ箱」は、今日でも国際的な共通慣行がある訳ではありません。日本独特の募金方法のようです。アメリカをはじめ諸外国にはニコニコ箱に類するものとして Fine Box と Chest Box があります。Fine Box は罰金箱で、欠席、早退とかのペナルティを集める制度であり、Chest Box は目的を定めた募金箱ですから、目的を定めずに募金をする日本のニコニコ箱とは若干違います。いちばん最初の資金集めは1924年シカゴ・クラブのドクター・クラーク・ハウレーが人々のために一生懸命活動している農夫の馬が死んだため新しい馬を彼に与えたいが故にクラブ内で寄付を募ったのが最初との記録があります。(Oren Arnold 著 Golden Strand より) 日本での起源については1931年(昭和6年)に大阪クラブの藤原さんという会員が始めた罰金箱が後にニコニコ箱に変わりました。東京クラブでは1936年9月30日、関 幸重さんという会員が玉川園の孤児300名を招待するために、ありあわせの紙箱を回して募金を募ったのが始まりだと記録にあります。その後、関会員が発起人となって毎例会に箱を回して、誕生、お祝いごと、慶事に何がしかの喜捨を求めて、この制度がニコニコ箱として定着したようです。当初使っていた紙箱は、その後三越に特注した木箱に代わりましたが、その箱にはニコニコ顔の本家本元である恵比寿様の顔が彫られていたとのことでした。

さて、この不思議な箱のことを、もう少し調べてみましょう。

会員、家族、事業場等の慶び事、お祝い事をニコニコしながら披露し、喜びを分かち合い、又失敗したり、迷惑をかけたときもユーモアたっぷりに苦笑し、例会を賑わせて親睦を増進し、集まったお金は主として奉仕活動資金に使われる。(用語便覧2008抜粋)とあります。私のクラブではひとり一回2,000円がほとんどです。

ニコニコ箱は寄付金ですので、少なくとも結構だし、多ければ尚いいというものであります。よって目標の立てられない財源であります。目標の立てられない財源でありますから、年間事業予算の中にこれを組入れる事が出来ません。これが会計処理上の一般原則です。幾ら集るかわからないものを当年度の事業引当金にする事は出来ません。クラブが目標を立て予算を組んで会費並に徴収していたときは別とし

て、6月30日に締めまして、そこで固定したものを次年度の予算の中に組込むのが正しい活用方法だと思います。ですから、ニコニコ財源は一年遅れるという形になります。

基本的には奉仕活動に充てられるものですから、奉仕活動の実践が低調だと、ニコニコが消化できずに段々と繰越金が増えてくることが想定されます。その一方でクラブの本会計は逼迫している場合、ニコニコ会計から何らかの名目をつけて、本会計に戻入して消化しているクラブがあると聞いたことがあります。「誕生祝の品物は本会計の親睦活動委員会の費用で購入するのだから、誕生祝のニコニコは本会計で使っても良い」等々、いろいろと都合のいい解釈はつくものです。しかし、如何なる理由をつけようとも、ニコニコ会計を本会計に戻入することは好ましい方法ではないと思います。ニコニコは対社会的奉仕活動のために集めている寄付金ですから、ロータリアンがその受益者になることはできません。ニコニコを本会計に戻入することは、その額の多い少ないは別にして、ロータリアンが受益者になることを意味します。クラブの運営費、すなわち本会計は会員が平等に負担して成立しています。会費負担の平等性が保たれているからこそ、クラブ内における会員の平等性も保たれると思います。ニコニコは対社会的活動に賛同する人が任意に、金額もばらばらに拠出しているわけで、会員が平等に拠出しているわけではありませんので、これを本会計に流用することは、会費負担の平等性を崩すことにもなると思います。本会計が不足ならば、取るべき方法は、経費削減か会費値上げしかありません。

日本では奉仕活動をする際、会員より資金を調達して活動費用に充てられるのがほとんどです。諸外国のロータリー奉仕活動はまず、地域社会の問題点を調査して、会員の了解を得た上で、目的を定めて地域社会に寄付を募り、その集まった金額内で地域社会とともに奉仕活動を実践するといった方法が主流のようです。

入れてもよければ入れなくてもいい。入れた者入れたからとて誇ってはならない。入れない者必ずしも恥かしいと思っではいけない。これがニコニコ箱の古くからのルールです。

室蘭北RCさんではニコニコボックスの隣に青少年奉仕活動を目的に定めた Chest Box がありました。(フンコインボックスという名称で可愛い子ネコが手を出して持っていくといったユニークな箱です。)素晴らしいクラブに思わず拍手してしまいました。

地区カレンダー (2月・3月)

2月 平和と紛争予防/ 紛争解決月間	
1 (金)	札幌ライラックRC加盟認証伝達式
2 (土)	第9グループIM(登別)
3 (日)	
4 (月)	
5 (火)	
6 (水)	
7 (木)	
8 (金)	
9 (土)	第3回学友交流会・帰国報告会
10 (日)	
11 (月)	建国記念日
12 (火)	
13 (水)	
14 (木)	
15 (金)	
16 (土)	2019-2020年度ガバナー補佐研修セミナー(千歳) 2019-2020年度地区チーム研修セミナー(千歳)
17 (日)	
18 (月)	
19 (火)	
20 (水)	
21 (木)	
22 (金)	
23 (土)	ロータリー創立記念日
24 (日)	第8グループIM(浦河)
25 (月)	
26 (火)	
27 (水)	
28 (木)	

3月 水と衛生月間	
1 (金)	
2 (土)	
3 (日)	
4 (月)	
5 (火)	
6 (水)	
7 (木)	
8 (金)	
9 (土)	2018-19年度会長エレクト研修セミナー(千歳)
10 (日)	地区財団セミナー・米山セミナー(千歳)
11 (月)	
12 (火)	
13 (水)	
14 (木)	札幌東RC創立60周年記念式典
15 (金)	
16 (土)	地区RYLAセミナー(札幌)
17 (日)	
18 (月)	
19 (火)	
20 (水)	
21 (木)	春分の日
22 (金)	
23 (土)	第4・5グループIM(札幌)
24 (日)	
25 (月)	
26 (火)	
27 (水)	
28 (木)	
29 (金)	
30 (土)	第10・11グループIM(函館)
31 (日)	

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			2018.7.1	2018.12.31	増減	内女性	
1	深 川	3	33	33	0	2	79.71
	羽 幌	3	46	46	0	2	77.54
	妹背牛	3	7	7	0	0	90.47
	留 萌	3	33	34	1	3	69.61
	小 計		119	120	1	7	79.33
2	赤 平	4	27	27	0	2	68.13
	芦 別	3	31	31	0	2	75.82
	砂 川	3	40	42	2	1	95.00
	滝 川	3	93	96	3	4	75.00
	小 計		191	196	5	9	78.49
3	美 唄	3	26	27	1	0	90.03
	江 別	3	32	33	1	1	87.50
	江 別 西	4	30	30	0	4	87.50
	岩 見 沢	3	74	76	2	0	95.52
	岩見沢東	3	17	17	0	2	75.98
	栗 沢	3	19	18	-1	1	98.10
	栗 山	3	25	27	2	5	83.95
	当 別	3	27	29	2	0	83.48
	小 計		250	257	7	13	87.76
4	札 幌	3	121	134	13	2	98.96
	札幌はまなす	3	16	18	2	2	83.00
	札 幌 北	3	40	43	3	4	86.45
	札幌モーニング	3	34	33	-1	0	75.27
	札 幌 西	3	50	50	0	9	76.87
	札幌西北	3	34	34	0	3	85.00
	札幌手稲	3	37	39	2	4	89.47
	小 計		332	351	19	24	85.00
5	札 幌 東	3	125	123	-2	0	98.85
	札幌清田	3	13	13	0	4	100.00
	札幌幌南	3	66	54	-12	3	99.35
	札幌ライラック	2		21		7	73.50
	札幌真駒内	4	23	25	2	7	100.00
	札 幌 南	3	88	91	3	2	96.48
	札幌大通公園	2	14	14	0	4	64.28
	新 札 幌	3	25	27	2	5	82.33
小 計		354	368	14	32	89.35	
6	岩 内	3	20	20	0	1	93.33
	倶 知 安	3	36	36	0	3	69.80
	小 樽	4	71	74	3	5	82.09
	小樽南	3	65	65	0	4	86.90
	小樽銭函	3	22	24	2	1	83.00
	蘭 越	3	9	9	0	0	100.00
	余 市	3	43	43	0	6	82.90
	小 計		266	271	5	20	85.43

12月
増減数
出席率

クラブ数	70クラブ
期首会員数	2,544人
当月末会員数(女性)	2,627人(176人)
増加会員数	83人
当月平均出席率	82.99%

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			2018.7.1	2018.12.31	増減	内女性	
7	千 歳	3	69	76	7	9	80.25
	千歳セントラル	3	39	42	3	8	72.22
	恵 庭	3	49	53	4	3	89.18
	北 広 島	3	16	15	-1	0	82.22
	長 沼	2	17	16	-1	3	87.50
	由 仁	2	7	8	1	1	75.00
	小 計		197	210	13	24	81.06
8	え り も	2	17	20	3	1	97.50
	三 石	3	13	13	0	0	73.30
	様 似	3	17	17	0	1	77.45
	静 内	3	72	71	-1	5	83.00
	浦 河	3	26	28	2	3	96.00
	小 計		145	149	4	10	85.45
	9	伊 達	3	64	64	0	1
室 蘭		3	32	33	1	2	67.67
室 蘭 東		3	34	38	4	3	77.20
室 蘭 北		3	46	46	0	2	74.18
登 別		3	25	25	0	1	84.00
洞 爺 湖		2	9	9	0	0	100.00
小 計			210	215	5	9	80.00
10	函 館	3	76	83	7	1	72.49
	函館亀田	3	43	42	-1	4	72.22
	森	3	35	35	0	0	79.00
	七 飯	4	12	12	0	0	66.70
	長 万 部	2	10	10	0	0	85.00
	函館セントラル	4	23	22	-1	2	84.09
	小 計		199	204	5	7	76.58
11	江 差	2	10	10	0	1	70.00
	函館五稜郭	3	54	54	0	0	80.75
	函 館 東	4	45	44	-1	8	75.00
	函 館 北	3	16	19	3	0	89.47
	北 斗	4	12	12	0	0	54.20
	小 計		137	139	2	9	73.88
12	白 老	3	30	30	0	3	82.50
	苫小牧	3	59	62	3	3	82.57
	苫小牧東	4	27	27	0	4	90.63
	苫小牧北	4	28	28	0	2	89.64
	小 計		144	147	3	12	89.64
合 計		2,544	2,627	83	176	82.99	



表紙写真

札幌市 大倉山ジャンプ競技場から飛び立つ「ジャンパー」

撮影者：野口観光ホテルプロフェッショナル学院・

北海道文教大学外国語学部国際言語学科 講師 今野哲郎

